

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年5月19日		記入者	内線	2745
部 名	環境保全部	課 名	環境保全課	課長名	西丸三千則
事務事業名	低公害自動車普及促進事業				
予算上の事務事業名	低公害自動車普及促進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み				事業開始年度
施 策 名	第3施策 公害防止対策の推進				平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	大気汚染防止法、地域新エネルギー導入・省エネルギー普及促進対策費補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)</p> <p>自動車排出ガスによる大気汚染を改善するため、低公害自動車の普及促進を図り、良好な大気環境を保持する。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>低公害自動車購入者 低公害自動車保有者 エコステーション設置事業者</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及啓発用パンフレット作成 普及啓発用シール作成 「相模原市低公害自動車市営駐車場利用料金割引要綱」 認定対象(登録)台数54台(利用割引件数146件) 「低公害自動車購入奨励金交付要綱」 奨励金の交付1台 				
6 関連・類似事業や他市の状況	<ul style="list-style-type: none"> 「市営駐車場利用料金割引」：小田原市が同様な事業を行っている。割引サービス内容は本市より勝っているが、その分コストは余分にかかる。 「購入奨励金交付」：県・政令市を含む6自治体で同様な事業が行われている。補助対象者や車種の要件等が異なり単純な比較は困難である。 				
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	0	1,763	200	400	0
一般財源	0	1,317	200	400	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	446	0	0	0
人件費の合計	0	1,600	1,600	1,600	0
事業コスト合計(a)	0	3,363	1,800	2,000	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	低公害自動車購入奨励			対象名称(単位)	市内世帯数(世帯)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	3,363	1,800	2,000	0
対象数	0	248,000	252,000	255,000	259,000
単位あたり経費(円)		14	7	8	0
前年度比			0.53	1.10	0.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	市営駐車場利用料金割引制 度実施率（％）	指標式と指 標の説明		駐車場割引利用台数÷認定対象台数×100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績			100.0		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度			1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	公用車両における低公害自 動車導入率（％）	指標式と指 標の説明		低公害公用車両数÷全車両数×100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	1.0	2.0	3.0		
目標	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0
目標達成度	100.0	100.0	150.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		低公害車及びその周辺を取り巻く環境には様々な課題があり、普及促進の難しさがある。しかし、当該事業は今後の大気汚染の改善や地球温暖化防止策にとって重要な施策である本市としても推進を図っていく必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 制度に関する市民、事業者への一層の周知啓発、徹底に努めていきたい。			14 課題として認識されたこと 本制度の主たる対象である天然ガス車の導入については、コスト面だけでなく、市内に天然ガスを補給できるガソリンスタンドが1ヵ所しかないこと、走行距離が200kmしかないため、一般の営業車として使用するには不向きなことから、あまり普及していないのが現状。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		担当課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しを進める。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			